

パネル討論①

「留学生・研究者の入口管理について
—キャッチオール規制の観点から」

モデレーター
大阪大学 研究オフィス 教授
金 美善

大学の国際化=外国人受入数の増加

文科省の「大学の国際化の危機管理について」の資料にも…

グローバル人材育成のための大学の国際化と学生の双方向交流の推進

1. 大学教育のグローバル展開力の強化

令和3年度予算額：43億円（前年度予算額：45億円）

(1) 大学の体制の国際化

令和3年度予算額：33億円
(前年度予算額：33億円)

【スーパーグローバル大学創成支援事業】

我が国の高等教育の国際競争力の向上とグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を支援。

- スーパーグローバル大学創成支援 33億円
37件（トヨタ型13件/ゲ0-N型4件/牽引型24件）（2014年度-2023年度）

(2) 教育プログラムの国際化

令和3年度予算額：10億円
(前年度予算額：12億円)

【大学の世界展開力強化事業】

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援。

- アジア高等教育共同体（仮称）形成促進（新規）
(2021年度-2025年度：21件)
- アフリカ諸国との大学間交流形成支援
<交流推進型/プラットフォーム型>
(2020年度-2024年度：8件)
- 日-EU戦略的高等教育連携支援
<交流推進型/プラットフォーム型>
(2019年度-2023年度：3件)
- COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援
<交流推進型/プラットフォーム型>
(2018年度-2022年度：10件)
- ロシア、インド等との大学間交流形成支援
<交流推進型/プラットフォーム型>
(2017年度-2021年度：11件)

2. 大学等の留学生交流の充実

令和3年度予算額：325億円（前年度予算額：341億円）
令和2年度第1次補正予算額：1億円 令和2年度第3次補正予算額：7億円

(1) 大学等の留学生交流の支援等

令和3年度予算額：73億円
(前年度予算額：80億円)

専攻と能力のある若者全員に留学機会を付与し、日本人留学生の増進（6万人→12万人）を目指すため、若者の海外留学への機運醸成を図る留学促進キャンペーン「留学JAPAN」の活動を推進するとともに、学位取得目的の長期留学支援の拡充等により、留学経費を支援する。

- 大学等の海外留学支援制度 72億円
<学位取得型> 大学院：252人、学部：160人
<協定派遣型> 17,406人（学費支援金896人を含む）
<協定受入型> 5,000人
- 日本人の海外留学促進事業 0.8億円

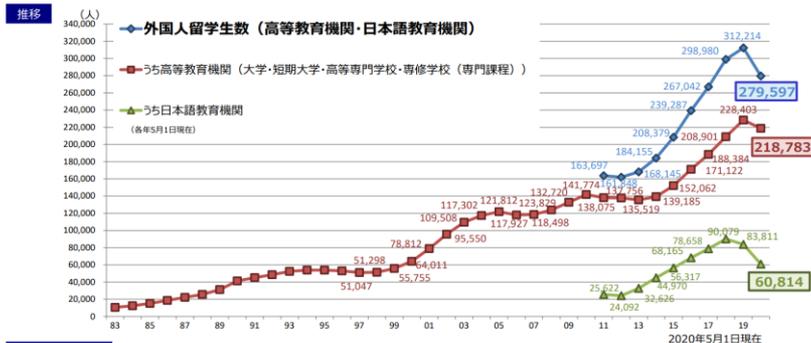
(2) 優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

令和3年度予算額：262億円（前年度予算額：261億円）
令和2年度第1次補正予算額 1億円 令和2年度第3次補正予算額(案) 7億円

優秀な外国人留学生を確保し、内なる国際化を図る「留学生30万人計画」の実現に向け、海外での日本留学の魅力発信を強化するとともに、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応視察」等を踏まえ、大学等における在籍管理の徹底を図りつつ、外国人留学生の国内就職に資する取組を支援する等により、外国人留学生の我が国への受入れを促進する。

- 日本留学への誘い、入国（入試・入学・入国）の改善 13億円
・日本留学海外拠点連携推進事業 7拠点
- 受入れ環境づくり、卒業・修了後の社会の受入れ推進 237億円
・国費外国人留学生制度 11,408人
・留学生受入れ促進プログラム 7,119人
・留学生就職促進プログラム 15拠点 等

外国人留学生数（総数/高等教育機関/日本語教育機関）の推移



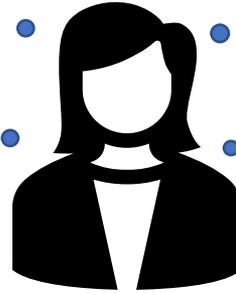
出身国・地域別	国・地域名	留学生数（前年数）	対前年増減	国・地域名	留学生数（前年数）	対前年増減
中	国	121,845 (124,436)	△ 2,591	スリランカ	5,238 (7,240)	△ 2,002
ベトナム	62,233 (73,389)	△ 11,156	ミャンマー	4,211 (5,383)	△ 1,172	
ネパール	24,002 (26,308)	△ 2,306	Bangladesh	3,098 (3,527)	△ 429	
韓国	15,785 (18,338)	△ 2,553	モンゴル	3,075 (3,396)	△ 321	
台湾	7,088 (9,584)	△ 2,496	その他	26,823 (33,857)	△ 7,034	
インドネシア	6,199 (6,756)	△ 557	合計	279,597 (312,214)	△ 32,617	

大学の国際化が進むと必然的に外国人研究者・留学生の受入も増えてくる。

こんな事ありませんか？

用途要件と需要者要件？
どうやって確認すればよ
い？わからないな…

提供技術はリスト規制に該当
しないのは確認できたので、次
はキャッチオール規制の確認
かな…やること多いな…



一応確認はしたけど、どれ
くらい確認したらよい？他
の大学はどこまで確認して
いるかな…
不安だな…

今のリソースでどこまで
できるかな？
心配だな…

え？外国ユーザーリスト掲
載機関出身者？
これ私が判断するの？
判断するの怖いな…

この留学生に関する情報が
もっとほしいんだけど、先
生にどう言ったらいいか
な？

輸出管理DAY for ACADEMIA 2023

パネル討論①「留学生・研究者の入口管理についてーキャッチオール規制の観点から」

講演(1) キャッチオール規制に対して何をどう適切かつ効率良くやるか、事例によるご参考話

発表者 電気通信大学 小野 薫

■ 留学生・研究者受入れ時の輸出管理手続き方法(法令と自主管理への適切な対応)

- 受入れ研究室・事務による対応方法
- 事務・輸出管理マネージャーによる対応方法

■ 事例

- 出身・在籍大学等が外国ユーザーリストや米国Entity Listに掲載
- 受入れ可否事例

輸出管理Day for Academia

北海道大学における 留学生等の入口管理

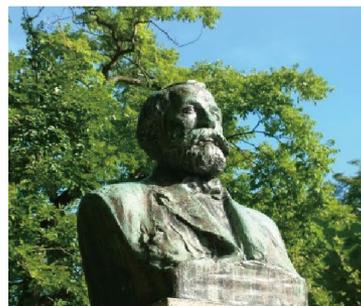
大林 明彦

教授
産学・地域協働推進機構
北海道大学

2023年9月22日



HOKKAIDO
UNIVERSITY



1. はじめに

2. 北海道大学の安全保障輸出管理

3. 北海道大学における留学生等の入口管理



Bust of Dr. Clark

フロンティア
精神

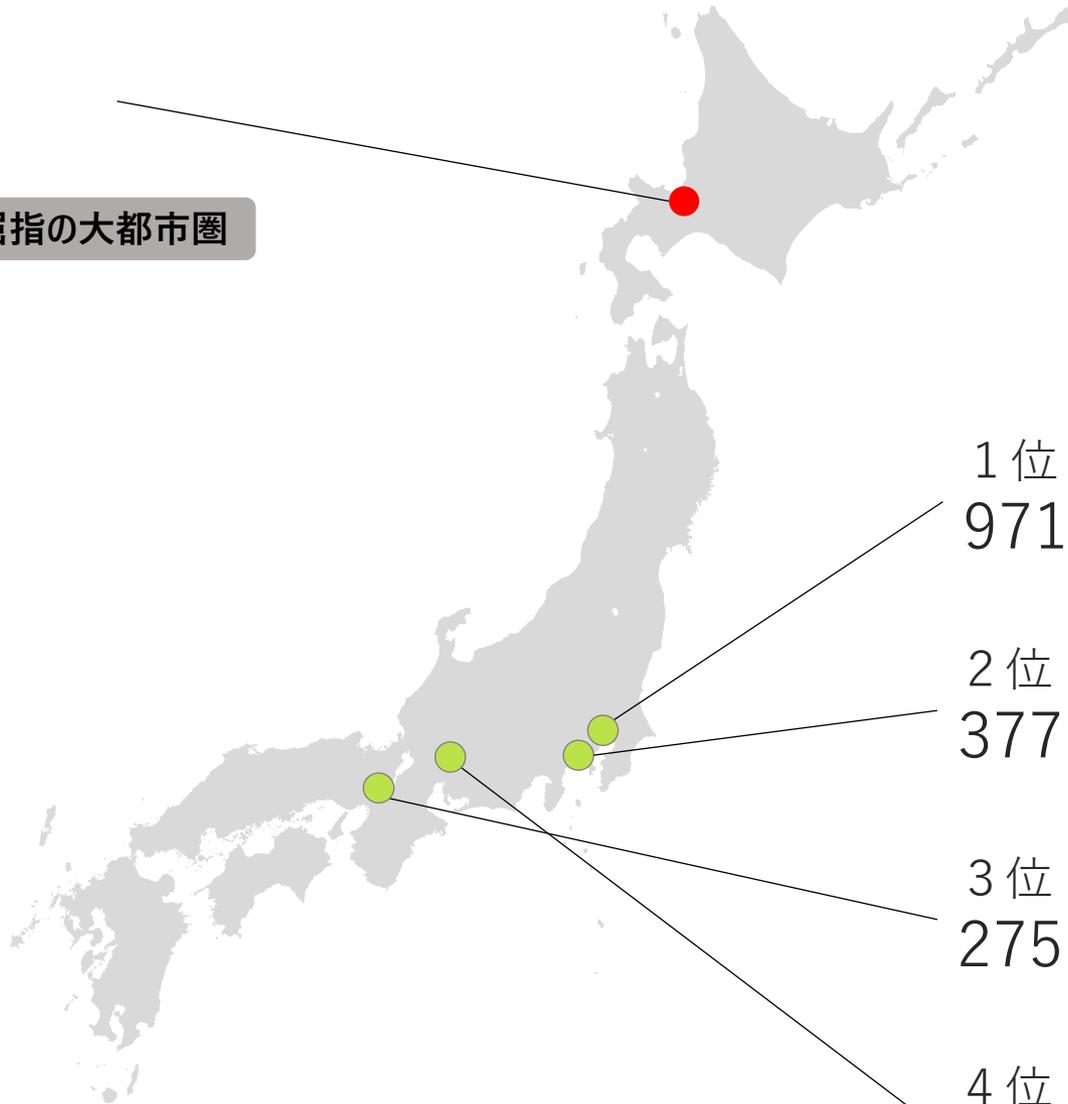
実学の重視

国際性の涵養

全人教育

5位 札幌市
197万人

日本屈指の大都市圏



1位 東京都(23区)
971万人

2位 横浜市
377万人

3位 大阪市
275万人

4位 名古屋市
233万人

日本の人口 1億2,484万人

2022.5.1現在

組織



12 学部
21 大学院
25 研究所・センター

教職員



役員 11 人
教員 1,960 人
職員 1,946 人
3,917 人

札幌市民の1%は北大生

学生



学部生 11,455 人
大学院生 6,544 人
附置研究所等 95 人
18,094 人

留学生は 2,094 人で北大生の10%超

予算



2022予算 1,080億円

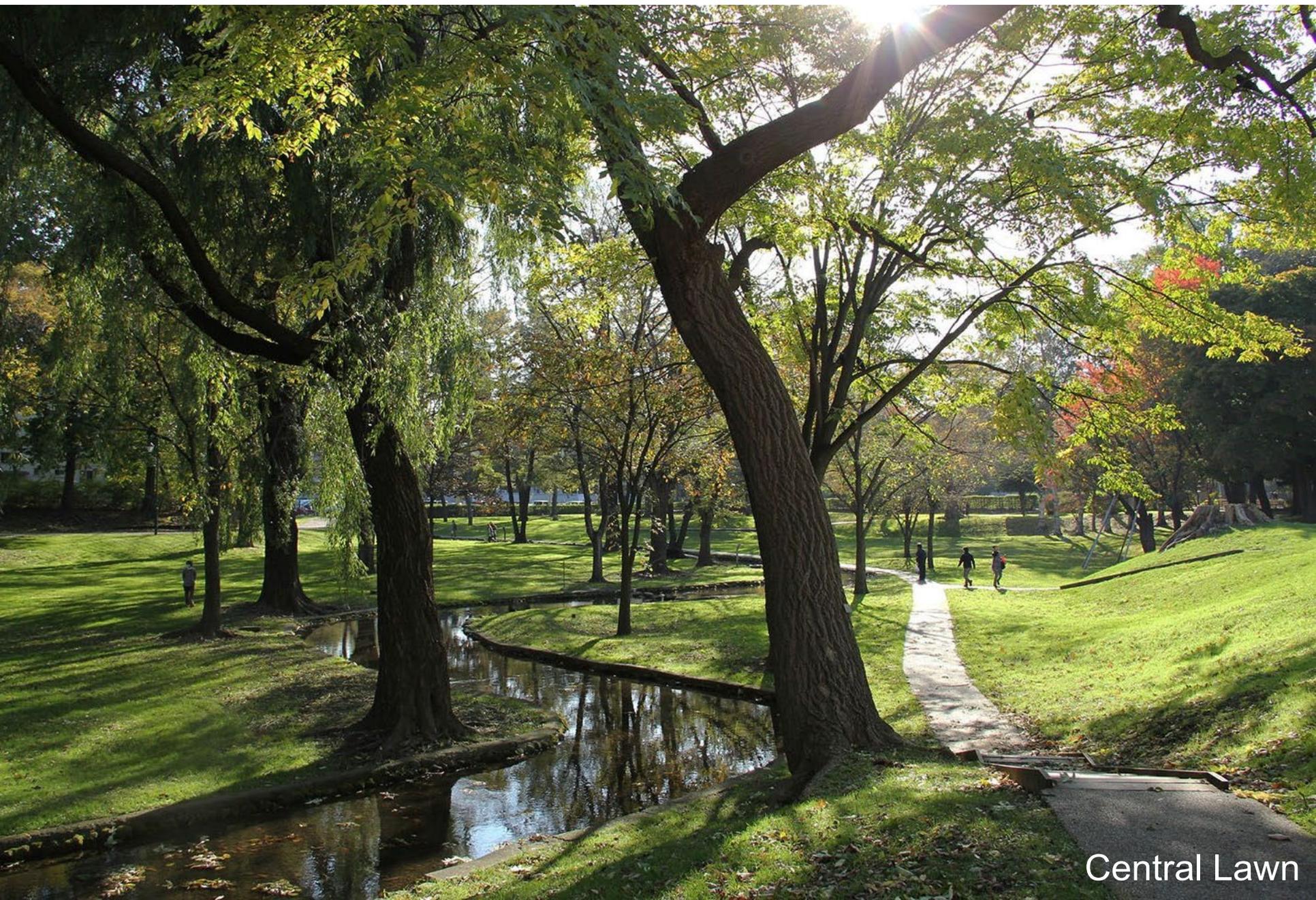
面積



札幌キャンパス 1.8 km²
函館キャンパス 0.1 km²
研究林他 658.3 km²
660.2 km²

日本国土の約 1/570





本学の安全保障輸出管理体制

安全保障輸出管理最高責任者
(総長)

- 【安全保障輸出管理最高責任者】
- ①基本方針・施策の決定
 - ②危機発生時の対応策の最終決定
 - ③輸出管理上の重要事項に関する決定

安全保障輸出管理統括責任者
(総長が指名する理事)

- 【安全保障輸出管理統括責任者】
- ①輸出管理業務の統括
 - ②該非判定・取引審査の最終承認
 - ③監査の基本方針の策定
 - ④危機発生時の対応案の策定

安全保障輸出管理全学責任者
(総長が任命する専任の教授又は准教授)

- 【安全保障輸出管理全学責任者】
- 輸出管理業務の実務上のとりまとめ

二次審査部門・本部

安全保障輸出管理委員会

委員長＝安全保障輸出管理全学責任者

委 員

- ・産学・地域協働推進機構の職員 若干名
- ・国際連携機構副機構長(総長が指名する者)
- ・研究推進部長
- ・その他委員会が必要と認めた者

- 【安全保障輸出管理委員会】
- ☆審議事項
- ①該非判定・取引審査に関する事項
(全学における事前確認と該非判定及び取引審査(二次審査))
 - ②輸出管理に係る教育に関する事項
 - ③輸出管理に係る監査の実施に関する事項
 - ④その他適正な輸出管理に関し必要な事項

一次審査部門・部局等

安全保障輸出管理部局等責任者
(部局等の長)

【審査組織】
※キーパーソンとなる教員等(輸出管理アドバイザー)や審査WG, 委員会設置等(任意設置)

【審査体制】
キーパーソンとなる教員等(輸出管理アドバイザー)や審査WG, 委員会設置等, 一次審査の体制細部は部局に一任する(複数部局で合同設置可)

- 【安全保障輸出管理部局等責任者】
- ①部局等における輸出管理業務の統括
 - ②部局における事前確認と該非判定及び取引審査(一次審査)
 - ③所属教職員等からの相談・申請窓口

申請者(教員等)



Hokkaido University Museum

本学における研究インテグリティ確保のための体制 (研究公正推進室は2022年4月発足)

総長

研究インテグリティ委員会

研究担当理事(委員長)

委員

- ・総長が指名する理事
- ・各分野(文・理・医系)の教授 各1名
- ・研究推進部長
- ・その他総長が特に必要と認めたる者

相談窓口

研究公正推進室

研究リスク全般

利益相反

輸出管理

構成員・組織等

研究リスク管理に必要な情報

関係部署

研究者情報、受入研究費等

研究振興企画課

ABS対応、輸出管理

産学・地域協働推進機構、
産学連携課

知財、共同研究等

人事課・厚生労務
室

職歴、兼業等

各部局等事務部

研究経歴、出張情報、受入研究費等

科学者

※「北海道大学における科学者の行動規範」に定義されている研究者、専門職業者を指し、本学に所属し研究活動を行う全ての者を対象

研究リスクに関する相談等

配分機関等からの要請等対応(情報共有)

研究活動の透明性確保に必要な情報

研究費申請(情報申告)

研究資金配分機関等

照会・要請等

回答

連携(情報共有)

研究インテグリティ委員会の審議事項

- ・研究インテグリティの確保に係る取組の推進に関する事項
- ・研究リスクの管理・審査に関する事項 等

研究公正推進室の業務

- ・研究インテグリティ確保、研究リスク管理に係る対応
- ・利益相反マネジメント、安全保障輸出管理に関する対応
- ・研究活動の不正行為、研究費不正使用に関する対応及び防止



- 外国ユーザーリストとおそれの強い貨物例
- 居住性の判断

高度技術の流出は、関係国間でも大きな問題

ITT: Intangible Technology Transfer 無形技術の移転

技術は一回流出してしまうと、モノの様に経年劣化しない

外国ユーザーリストとおそれの強い貨物例などを使った慎重な審査
居住性の判断 みなし輸出管理明確化を含む

入口、中間、出口の三つのタイミングでの管理が重要

入口管理: 受入時の管理

中間管理: 途中段階の管理 一時帰国、修士→博士、転科含む

出口管理: 卒業時・帰国時の管理

	貨物	技術
リスト		
CA		

➤ 入口管理: 受入時の管理

これが基本

事前確認シート[外国人(留学生・研究者・訪問者)受入用]により、研究内容、研究の目的、出身国、出身組織等を確認し、安全保障上の懸念の有無を確認する

学部や講義のみ課程、人文・社会科学系の課程で受け入れる場合は、受入管理の濃淡をつけることが可能(ガイダンスP110)

出入国在留管理庁から説明を求められることもある
税関(財務省)も事後調査を本格化

	貨物	技術
リスト		
CA		

➤ ロシア・ベラルーシに対する対応(1)

2022年2月24日のロシアのウクライナ侵攻を受けての「国際制裁」の一環
原則、経産大臣から「承認されない」「許可されない」ことで、「禁輸」となっている

リスト規制についても、通常のリスト規制とは別のリストで管理がされている
また、外国ユーザーリストとは別の「特定団体」に対する規制があり、極めて
厳しい管理が必要となる

然も、上記規制が国際情勢により、頻繁に変更となることも管理を難化している

進め方としては、「特定団体」*を最初にチェックして、その後、固有のリスト規制
(別表第二の三)を調べるやり方が推奨されている *ロシアの一覧は以下URL
https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/02_export/17_russia/list_russia_tokutei.pdf

因みにロシアの「特定団体」で“大学”の文字が含まれるのは以下の二校:

- ・モスクワ物理・技術大学(別称、MIPT 及び MFTI)
- ・モスクワ航空大学

	貨物	技術
リスト		
CA		

➤ ロシア・ベラルーシに対する対応(2)

固有のリスト規制について、CISTECが「外為法に基づくロシア等向け輸出禁止等措置の一覧エクセル資料」を公開しているので便利

<https://cistec.or.jp/service/russia.html>

ロシア・ベラルーシ等向け禁輸については、貿易管理課の以下URLが正式

https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/01_seido/04_seisai/crimea.html

尤も、本学では昨年これに特化した個別FDを実施、比較的「禁輸」のメッセージは浸透しているように感じる

共同研究等でのメディア露出の対応方法等、**レピュテーションリスクの考慮が大切か**
 実務では、同一人が「ベラルーシ出身」「ウクライナ国籍者」で、どちらとして居住性を判断すべきか悩ましい事例もあった

	貨物	技術
リスト		
CA		

➤ 特定類型該当者に対する対応

2022年5月1日から「みなし輸出の明確化」が施行されており、居住者であっても、外国政府等の強い影響を受ける者は、事前確認シート[外国人(留学生・研究者・訪問者)受入用]により、研究内容、研究の目的、出身国、出身組織等を確認し、安全保障上の懸念の有無を確認する

基本的には、居住者であっても、特定類型に該当する場合は、非居住者と同様の管理をすることになるという視点で臨んでいる

尚、本学では、非居住者受入のタイミングで奨学金受給者(※外国企業含む)の管理を行っているので、特定類型②該当となる前段階から幅広く管理している

尤も、日本人、グループA国の特定類型該当者については、リスト規制該当の場合を除き、より簡便な管理をすることも必要かも知れない(Ex. 日本人で外国企業に雇用されている場合)

	貨物	技術
リスト		
CA		

➤ その他(義務兵役経験者)に対する対応

(規程の需要者等確認)

軍若しくは軍関係機関又はこれらに類する機関、又はこれらの所属者である

軍に関連していた者は、上記のとおり需要者として厳しい管理が求められる一方で、義務兵役経験者をどう扱うかという問題がある

台湾、マレーシア、イスラエル等では義務兵役があり、ある年齢に達すると義務として、ブートキャンプ等の兵役に一定期間従事することになる

これらの経験者で、現在は軍との結びつきがない者に対しては、より簡便な管理をすることも必要かも知れない

	貨物	技術
リスト		
CA		

Seasonal scenes of our campus





2023年9月22日

輸出管理DAY for ACADEMIA

長崎大学における 留学生等の入口管理と事例紹介

長崎大学研究開発推進機構

リスクマネジメント部門 URA

宮田 有紀



長崎大学について



経済学部

マップイラスト/横野ハヤト

アクセス map

長崎大学
キャンパス交通案内

長崎大学には、
3つのキャンパス
があります。



熱帯医学研究所



長崎大学病院



多文化社会学部
教育学部 薬学部
情報データ科学部
工学部 水産学部
環境科学部



医学部
歯学部
保健学科



高度感染症
研究センター

教職員数

区分	(人)
役員・教育職員	1248
その他の職員	2040
合計	3288

学生数

区分	(人)
学部生	7434
修士・博士課程	1612
専門職学位課程	44
研究生等	187
合計	9277

うち留学生数:578名

(内訳)

学部生 101名
大学院生 309名
研究生等 168名

2023.5.1現在



リスクマネジメント部門について

長崎大学 研究開発推進機構

機構長(理事)

島嶼SDGsプロジェクト

副機構長
機構長特別補佐
コンサルタント

研究国際部
(事務窓口)

研究推進部門

設備共同利用部門

産学官連携・知的財産部門

人材育成部門

FFGアントレプレナーシップセンター

リスクマネジメント部門

よろしくお願いします！

リスクマネジメント部門



リスクマン マネい

部門長

URA

URA

輸出管理担当

ABS担当

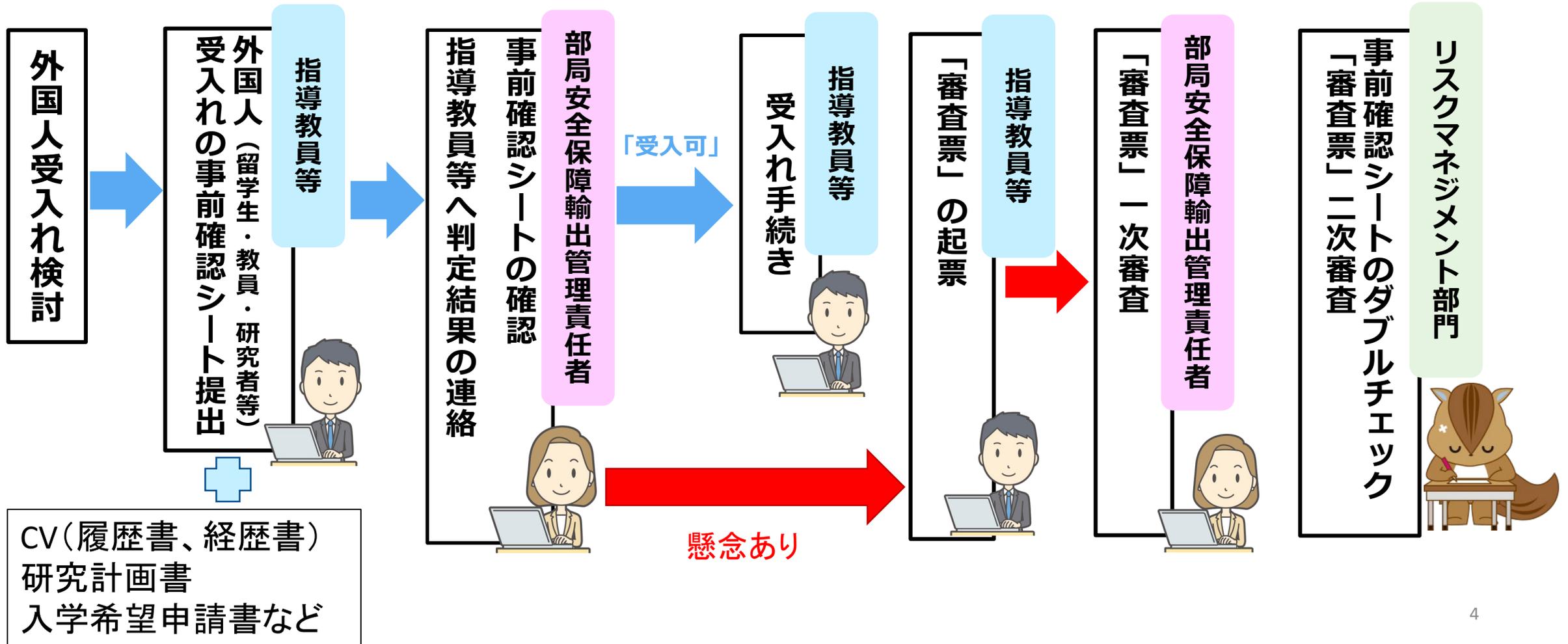
庶務担当

- 安全保障輸出管理
- 名古屋議定書におけるABS対応
- 利益相反マネジメント
- 研究倫理



長崎大学における外国人(留学生※・教員・研究者等)の受入れフロー

※留学生:大学院学生、科目等履修生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生





事例紹介：外国ユーザーリスト掲載組織出身者受入れ

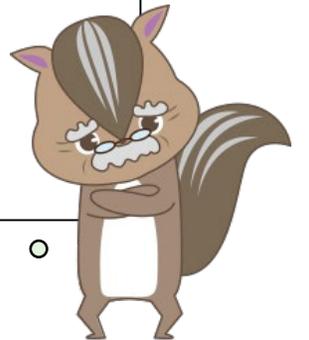
受入れ希望：理系研究室のA教授

受入予定者：外国ユーザーリスト掲載組織に所属するB研究者

○B研究者の研究技術とA教授の研究技術を合わせて新規技術の創出を計画

○B研究者は自己研鑽のため、本学での研究希望

○外国ユーザーリスト掲載組織に籍は残したまま、
客員研究員としての受入れ



受入れるにあたって懸念があるかどうか、
なにを注意すればいい？



事例紹介：外国ユーザーリスト掲載組織出身者受入れ

【キャッチオール規制の観点から大切にしたい視点】

- 出身組織・B研究者が、過去－現在(受入れ時・本学所属中)－未来において大量破壊兵器等の開発に関わる(関わった)可能性の有無
- 外国ユーザーリストの懸念区分と本学での研究内容が異なるか？
- 経歴や過去の研究内容と本学での研究予定に不自然な点はないか？
- 指導教員の研究室の情報(技術)管理は適切か？





事例紹介：外国ユーザーリスト掲載組織出身者受入れ

【実際に確認したこと】

- ✓ 懸念国、国連武器禁輸国・地域出身者でないか
- ✓ 外国ユーザーリスト
- ✓ 所属組織のホームページ
- ✓ 受入れ予定者の過去の研究内容
- ✓ 本学での研究予定内容
- ✓ 研究内容の用途
- ✓ 本学の教授の研究内容
- ✓ 本学の教授の研究室の機微技術等の有無
- ✓ 研究とは関係のないデータ等へのアクセス制限の可否
- ✓ 本学の教授の研究室周りの研究室への入室の可否



先生とのコミュニケーションは得意ですか？

先生としっかりコミュニケーションをとると。。。

- ・受入れ経緯の確認
- ・提供予定技術の確認
- ・懸念やリスクについてのお知らせ
- ・対応の検討・・・

輸出管理の
グッド・サイクル！

風通しが
よくなる

事前相談が
増える！

先生が懸念
に気づく





先生とのコミュニケーションをスムーズに行うための事前準備

- ① 先生の研究内容をチェック！ → 予備知識
- ② 先生の趣味をチェック！ → 話のタネ
- ③ 部局輸出管理担当者の方へ、先生の攻略方法リサーチ！
- ④ 先生との打合せに部局輸出管理担当者の方の同席依頼！





★先生との打合せポイント★

① お話を聞くことからスタート！

先生から、研究の内容や提供予定技術、受入れの経緯や意向を確認

② 先生へ、受入に伴う「懸念点」や予想される「リスク」や「デメリット」を伝える



「じゃあ、どうするか」を一緒に考えていきます



輸出管理の
グッド・サイクル！

受入にあたって伝える「リスク」や「デメリット」の可能性

例：技術流出、ヘッドハンティング、

他大学・研究機関・企業等との新規共同研究、外部資金獲得の困難さ



ご清聴ありがとうございました

